

# かわさき区の宝物シート

宝物No.	かわさきだいしへいけんじ
10-17	<b>川崎大師平間寺</b>

エリア	大師地区	シーズン	通年
	大師周辺	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他
----	--

宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input checked="" type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 人物
------	--



写真提供：川崎大師

所在地	川崎区大師町4-48
問い合わせ	川崎大師平間寺
TEL	044-266-3420
FAX	044-277-8163
E-mail	
URL	<a href="http://www.kawasakidaishi.com/">http://www.kawasakidaishi.com/</a> (川崎大師平間寺)
交通	京急大師線川崎大師駅より徒歩8分



## 基礎情報

■大治3年(1128)建立。厄除けをはじめ、家内安全、交通安全などの御利益で有名な寺院。正式には『真言智宗山派・大本山金剛山金乗院平間寺』といい、「厄除弘法大師」または「川崎大師」として、昔から篤い信仰を集めている。  
 ■本尊は厄除弘法大師像。  
 ■初詣参拝者数は全国上位を誇り、さまざまな年中行事で賑わっている。

## 由来・エピソード

■尾張の国の住人、平間兼乗（ひらまかねのり）は無実の罪で生国尾張を追われ、川崎で漁猟を生業として貧しい暮らしをしていた。ある夜、夢枕に立った高僧のお告げにより、海の中から弘法大師像を引き揚げ、海辺に小庵を建て、これを祀ったといわれている。その後、高野山の高僧尊賢（そんけん）上人が、諸国遊行の途中に兼乗のもとに立ち寄った。尊賢上人は、この像の尊さと像が見つかったいきさつの不思議さに感じ入り、兼乗とともに大治3年(1128)に寺を建立。兼乗の姓である「平間」にちなみ平間寺と名付けた。開基は尊賢上人である。  
 ■本尊が厄除けのご利益で知られるのは、兼乗の夢枕に立った高僧が、「これを供養して、功德を諸人に及ぼせば、汝が厄災変じて福となり、諸願もまた満足すべし」と告げたことによる。  
 ■ももとは地域の人々の信仰に支えられた寺であったが、近世に入り厄除けの効験があるとして諸国にその名が伝わり、江戸中期には庶民から武士階級にまで信仰が広まった。そして11代將軍徳川家齊が公式参拝したことで、さらに人気が高まった。  
 ■総本山は京都東山七条にある智積院。

## 補足・その他

**■年間行事**  
 【1月】元朝大護摩供／初大師 【2月】節分会・豆まき式／星まつり／涅槃会／福徳稲荷大祭・午まつり／聖徳太子年祭 【3月】御影供まつり 【4月】花まつり週間／ご供茶式（裏千家家元勤仕）／清瀧権現年祭／大般若経転読会 【5月】御本尊弘法大師降誕奉祝会／春大祭／救世観音年祭／まり塚まつり／二箇大法要／ご献茶式（宗偏流家元勤仕）／川崎大師薪能 【6月】興教大師降誕会 【7月】産業安全・災害絶滅大祈禱会／川崎大師風鈴市 【9月】稚児大師年祭／秋大祭／遍路大師年祭／二箇大法要 【10月】茶筥供養／ご供茶式（江戸千家家元勤仕） 【11月】七五三祝子育祈禱月間／密厳流・遍照講川崎大師奉詠大会／薬師如来・十二神将年祭 【12月】成道会／陀羅尼会／納めの大師／除夜法楽など

## 関連シート

- (10-13)川崎大師仲見世通り
- (10-18)六字名号碑
- (10-19)弘法大師への道(道標)
- (10-20)川崎大師風鈴市
- (10-21)川崎大師薪能